*本リリースは 2026 年 11 月 18 日にシンガポールにて発表されたリリース(https://www.visa.com.sg/about-visa/newsroom/press-releases/visa-brings-the-future-of-commerce-to-life-at-singapore-fintech-festival-2026.html)の抄訳です。

NEWS RELEASE

Visa、Singapore FinTech Festival 2026 で コマースの未来を形に

- **AI を活用したコマース、新たな資金移動の方法、それら全てを実現するために不可欠な「信頼」、Visa がグローバルコマースの未来に向けたビジョンを紹介**

シンガポール、2026 年 11 月 18 日 – デジタル決済の世界的リーダーである Visa は、「Singapore FinTech Festival 2026（SFF）」において、AI を活用したコマース、デジタル通貨と資金移動、相互運用可能な決済、サイバーセキュリティなど、幅広い分野のイノベーションを一堂に集め、コマースの未来を紹介します。

Visa の SFF への出展は、今月初めに発表した、シンガポールの新たなソリューションセンターにおける 6 つのグローバル・ケイパビリティ・ハブを基盤としています。これらのハブでは、AI、デジタルマネー、サイバーセキュリティ、量子コンピューティング、次世代決済に関する専門知識を集結し、Visa のグローバルネットワークへの展開を目指し、テクノロジーやソリューションを開発します。新設されたソリューションセンターには 1,500 人を超える専門人材が集まり、シンガポールが Visa にとって世界有数のテクノロジーおよびイノベーション拠点として果たす役割をさらに強化します。

Visa アジア太平洋地域 プレジデントのスティーブン・カーピンは、次のように述べています。「コマースの未来は、もはや遠い先の話ではありません。AI エージェントが買い物やビジネスのあり方を変え、新たな資金移動の方法が生まれる一方、アイデンティティ、セキュリティ、信頼をめぐる新たな課題も生まれています。こうした変化はすでに始まっており、シンガポールでは、その多くが現実のものとなりつつあります。SFF では、それらを一堂に集め、実社会でどのような意味を持つのかを紹介します。Visa の役割は、こうした未来をつなぎ、実用的かつ安全で、拡張可能なものにすることです。それにより、イノベーションを単なる可能性から、人々や企業が日々安心して利用できるものへと進化させていきます。」

コマースの未来を最前列で体験

「Shaping the Future of Commerce: Turning Possibility into Everyday Commerce（コマースの未来を形に：可能性を日常のコマースへ）」をテーマに、Visa は、コマースを大きく変える新たなテクノロジーが、人々や企業が日常的に利用できる体験へと進化していく姿を紹介します。SFF の「Visa Commerce Arena」では、以下の 3 つの領域を通じて、こうしたコマースの未来を体験いただけます。

1. **Smart Commerce**：Visa は、AI が質問に答えるだけでなく、実際に行動する段階へと進化していることを紹介します。エージェント同士のやり取りや、エージェンティック・コマースの実演を通じて、消費者や企業が権限やコントロールを維持しながら、AI を活用した体験で商品やサービスを見つけ、購入し、決済する未来を示します。また、複数の機能をオーケストレーション・レイヤーを通じて統合する「Visa Universal Financial Account」のコンセプトも紹介します。

2. **New Flows of Value**：Visa は、ステーブルコインや新たな決済体験を具体的なユースケースとして紹介します。「Visa Stablecoin Platform」をはじめ、ステーブルコインを活用した送金や決済処理、ク

ロスボーダーの資金移動、また法人およびエージェンティック調達の体験や、「Visa Pay」を活用したクロスボーダー決済、さらにクリエイターや小規模加盟店による決済の受け付けや資金へのアクセスを可能にする「Visa Accept」などを展示します。

3. **Trust at Scale**：Visa は、「Visa Protect」や不正対策に関する体験型の展示を通じて、コマースの進化にあわせて、人々や企業を守るセキュリティも進化する必要があることを紹介します。

展示から実用化へ：SFF での発表

SFF で展開する 3 つのテーマを通じて、Visa は、アジア太平洋地域のコマースを大きく変える動きに対応する、新たな製品やパートナーシップを発表しました。

Smart Commerce：よりインテリジェントで自律的になるコマース

- **エージェンティック・コマースを準備段階から実用化へ**：
  Visa は、AI が実施する取引にエコシステムが対応できるよう準備を進めるとともに、パートナーと連携して新たな体験の実現に取り組むなど、さまざまな側面からエージェンティック・コマースを推進しています。拡大した「Agentic Ready」プログラムではアクセプタンスに焦点を当て、50 社を超えるアクワイアラ、決済サービスプロバイダー、決済ゲートウェイ、一部の加盟店と連携し、AI エージェントが実施する Visa 取引への対応に向けた準備を進めます。また、Visa は Lianlian DigiTech と連携し、中小企業向けの信頼性の高い B2B エージェンティック・コマースの推進にも取り組んでいます。これらの取り組みを通じて、Visa はエージェンティック・コマースの基盤を構築するとともに、エコシステム全体で実際の活用シーンを広げています。

- **「信頼」が AI を活用したコマースの広がりを左右する**：
  AI エージェントが消費者に代わって購入を行うためには、欠かせない要素があります。それは**「信頼」**です。Visa の最新調査によると、シンガポール、オーストラリア、日本では生成 AI の利用が広がっている一方、AI が自分に代わって商品を購入することについて、消費者はより慎重な姿勢を示しています。生成 AI の利用率は、日本の 67%からシンガポールの 90%に達する一方、日常的に利用する家庭用品の購入を AI に任せてもよいと考える人は 20～30%にとどまります。この調査から、AI の普及とエージェンティック・コマースへの信頼の間には明確なギャップがあることが分かります。AI が消費者の買い物を支援する段階から、消費者に代わって購入する段階へと進む中、安全な決済インフラ、明確な権限設定、アイデンティティ、コントロールは必須となります。

New Flows of Value：よりグローバル、デジタル、相互運用が可能になる資金移動

- **グローバルウォレットと地域の QR 決済をつなぐ**：
  Visa は、Ant International のグローバルウォレットゲートウェイ「Alipay+」と連携した「Scan to Pay」の展開を発表しました。Visa のグローバルな決済ネットワークと Alipay+の QR 加盟店エコシステムをつなぐことで、対象となる旅行者が海外で決済をする際の選択肢と利便性を高めます。

- **ステーブルコインを活用した資金移動を推進**:
  「Visa Direct」は、ステーブルコインによる事前資金入金機能をアジア太平洋地域へ拡大します。これにより、対象となる顧客は、クロスボーダー送金の事前資金としてステーブルコインを使用でき、受取人は法定通貨で資金を受け取ることができます。

Trust at Scale:コマースの進化とともに、信頼も進化

- **サイバーセキュリティと不正対策を強化**:
  Visa が委託し、Forrester Consulting が 2026 年に実施した調査*1 では、アジア太平洋地域で調査対象となった金融機関のリーダーの 60%が、過去 12 カ月間に不正の巧妙化が進んだと回答し、57%が不正のスピードが増したと回答しました。Visa は、不正や金銭的損失につながる可能性のあるサイバー脅威を金融機関が早期に検知し、対応することを支援する「Visa Threat Intelligence Platform（VTIP）」をアジア太平洋地域で提供開始します。
  *1 調査結果は、調査対象者の見解および回答内容を反映したものであり、すべての金融機関を代表するものではありません。

Visa は、シンガポールに新たに設立したグローバル・ケイパビリティ・ハブと SFF における取り組みを通じて、テクノロジーの飛躍的な進歩を、グローバルに展開可能な、信頼性の高い実用的なコマース体験へとつなげていくことを目指しています。

###

【Visa について】
Visa は電子決済の世界的リーダーとして、世界 200 以上の国と地域における決済取引によって消費者、事業者、金融機関や政府機関をつないでいます。Visa のミッションは、最も革新的かつ利便性や信頼性が高く安全な決済ネットワークで世界を結び、個人や企業、そして経済の繁栄に貢献することです。私たちは、世界中のすべての人にとっての包括的な経済こそが、世界中の人々の生活を向上させ、経済へのアクセスが決済の未来へつながると信じています。詳しくは、Visa.com（英語サイト）または www.visa.co.jp（日本語サイト）をご覧ください。